

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	2-	2	
会計	款	項	目
一般	2	1	2

事業名	広報広聴経費
政 策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために

施 策	3-1 主題的で特色のある地域づくりの推進
課名	政策課

係名	広報秘書係
----	-------

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	全町民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	町民が町政に関する情報を、適切な時期に取得することができている。
事業内容			<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の月1回の発行を行う。 ・1年間を通じた行政情報を掲載したカレンダーの作成と各戸配布を行う。 ・ホームページや行政メール等インターネットを活用して情報発信を行う。 ・プラムチャンネルや三重テレビ旬感M i eを活用し身近な情報を発信する。 ・広報等配布物の各戸配布を行う。 ・地方創生事業として東員町PR情報紙の発行や公共交通広告を活用した町の発信等を行う。 	

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1 町ホームページ閲覧件数(トップページ)	-	-	119,680	件	↑	120,000
	2 町ホームページ閲覧件数(総アクセス数)	-	-	399,500	件	↑	400,000
	3 とういんプラムチャンネルを普段普段見る町民の割合	8.2	-		%	↑	↗
	4	※HP閲覧件数はR6システム改修に伴いGoogle アナリティクスにカウント方法変更					
	5						
		令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(予算)	
	全体事業費(千円)	72,587		54,671		38,922	
財源内訳	うち一般財源	55,221		43,335		38,342	

3 事務事業の評価、今後の方針性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方針性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡充(事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	DMOと事業の棲み分けを行いながら、町の魅力向上、適正な情報発信等を広報戦略に基づき事業を実施していく。	③取組の課題	魅力的な情報発信力の向上。
②R6年度に実施した取り組み	デジ田交付金の事業として、東員町PR情報紙の発行、公共交通広告を活用した町の発信、都市部でPRイベントの実施、町SNSの強化と公式LINEの構築等を実施。	④今後の改善計画	広報とういんの魅力的な特集の作成、町の情報誌の作成、SNSの情報発信力強化等、町の魅力向上と適正な情報発信を広報戦略に基づき実施。